

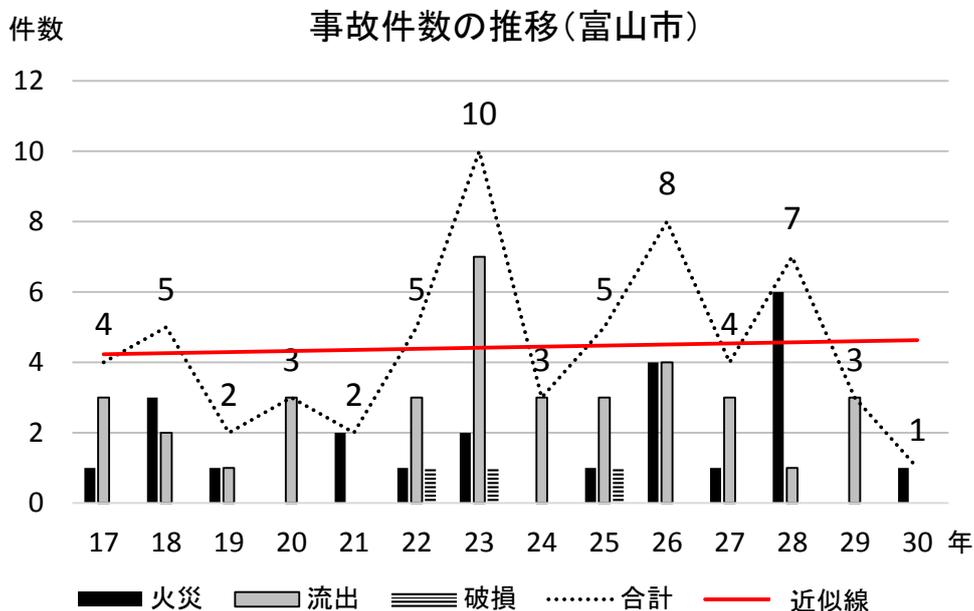
危険物施設における事故発生状況等

富山市消防局予防課安全係
平成31年4月11日作成

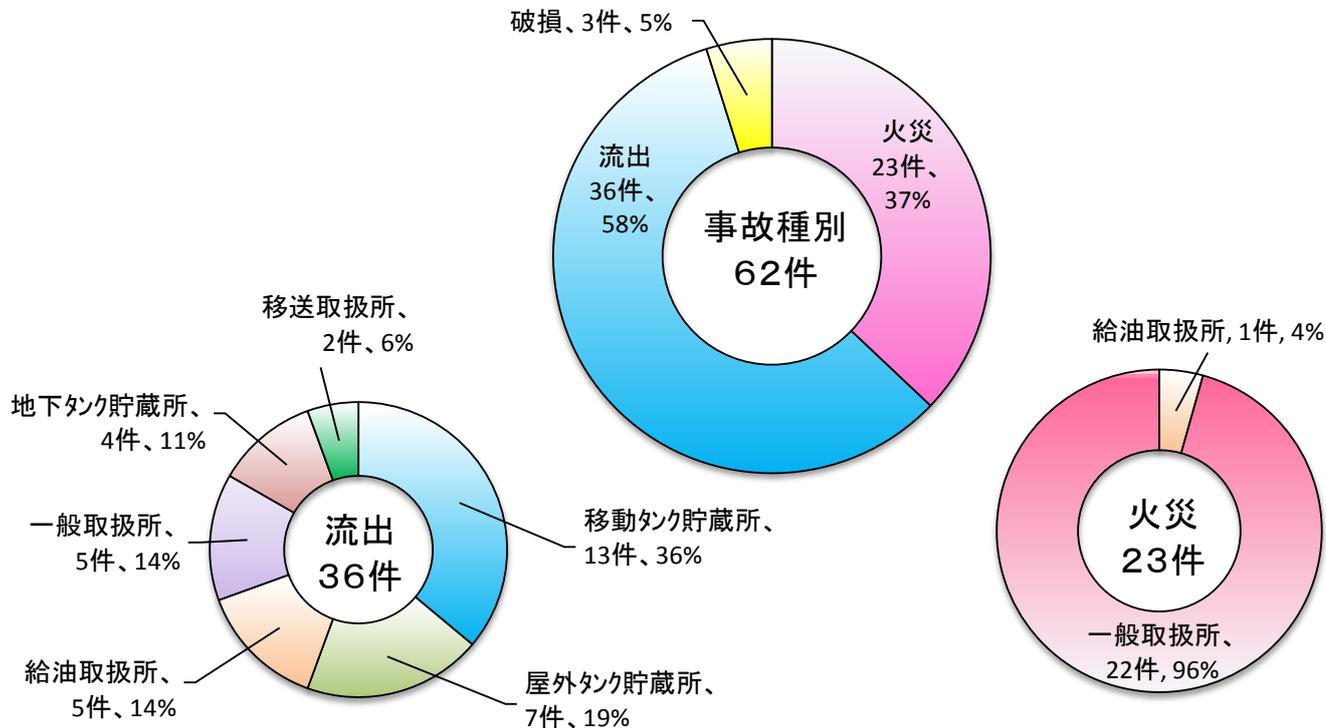
《危険物施設数の推移と事故発生件数》

富山市における危険物施設数は、全国、富山県同様に減少傾向であり、平成31年3月31日現在で2,271施設となっており、平成17年3月31日現在(2,553施設)と比較すると282施設減少している。

一方、平成17年から平成30年までの危険物施設の事故発生状況は、微増傾向にある。



平成17年以降の危険物施設の事故は62件あり、その内訳は、火災が23件(37%)、流出が36件(58%)、破損が3件(5%)となっており、流出が事故の半数以上を占めている。火災は、ほとんどが一般取扱所(96%)で発生しており、流出は、移動タンク貯蔵所及び屋外タンク貯蔵所で半数以上(55%)を占めている。



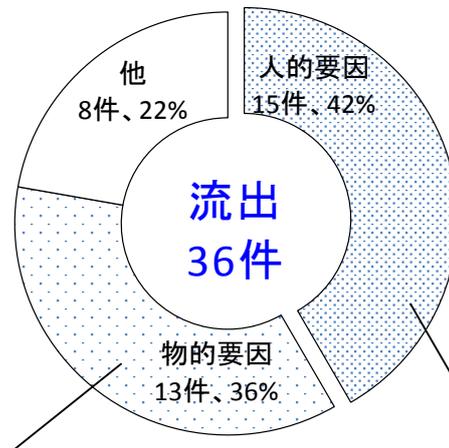
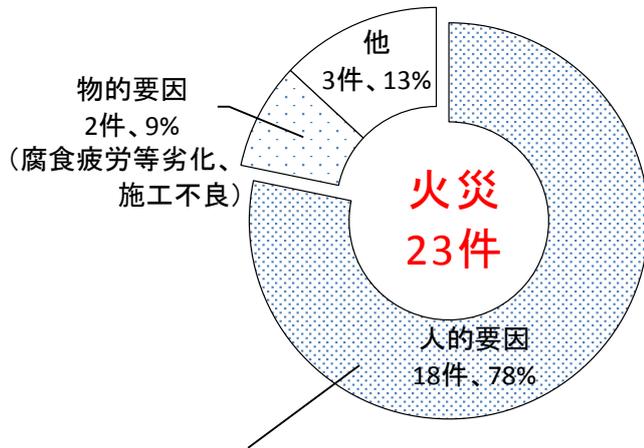
《危険物施設の事故発生要因と事故事例》

危険物施設における火災は、人的要因によるものが全国で48%である一方、県では84%、市では78%となっており、県、市では全国よりも人的要因による割合が高い。

流出は、全国、県では、物的要因による割合が高い一方、市では人的要因による割合が高い傾向が見られる。

〔 人的要因・・・維持管理・操作確認・監視不十分、誤操作、誤操作等
物的要因・・・腐食疲労等劣化、設計・施工不良、故障等 〕

【富山市（平成17～30年）】



- 7件(39%)・・・維持管理不十分
- 4件(22%)・・・操作未実施
- 4件(22%)・・・誤操作
- 2件(11%)・・・監視不十分
- 1件(6%)・・・操作確認不十分

- 5件(38%)・・・破損
- 4件(31%)・・・腐食疲労等劣化
- 2件(15%)・・・施工不良
- 1件(8%)・・・故障
- 1件(8%)・・・設計不良

- 6件(40%)・・・操作確認不十分
- 4件(27%)・・・維持管理不十分
- 3件(13%)・・・監視不十分
- 2件(20%)・・・操作未実施

火災事故事例	流出事故事例
<p>【人的要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般取扱所にて、遠心分離機により製品とアルコールを分離中、遠心分離機内で静電気火花が発生し、可燃性蒸気に引火した。 ・一般取扱所にて、アルコール廃液を樹脂製バケツから金属製ドラム缶に注ぎ入れたところ、静電気火花が発生し、可燃性蒸気に引火した。 ・一般取扱所にて、樹脂製容器内で混合溶液を攪拌し、ポンプで吸い上げていたところ、静電気火花が発生し、可燃性蒸気に引火した。 <p>【物的要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般取扱所にて、熱風ダクトの腐食により、ダクト内から漏れ出た熱風にさらされ、外壁材下地に低温着火した。 	<p>【人的要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給油取扱所にて、固定注油設備から移動タンク貯蔵所へ灯油を注油中、作業員がその場を離れて監視を怠り、注油口からあふれ、灯油約600ℓが流出した。 ・一般取扱所にて、工事後、試運転のため作動油をポンプにて圧送したところ、配管を取り外していた部分より作動油約300ℓが流出した。 <p>【物的要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外タンク貯蔵所にて、送油配管が腐食劣化により破損し、重油約700ℓが流出した。 ・屋外タンク貯蔵所にて、炉へ至る露出配管上に除雪された雪が堆積し、雪の重みにより配管が破損して重油約20,000ℓが流出した。

【富山市消防局 申請書ダウンロード】

<http://www.city.toyama.toyama.jp/index/shinseisho/shobo.html>

【油流出事故防止に関するリーフレット（富山県）】

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1706/kj00010319.html

【各種団体における事故防止対策の紹介（総務省消防庁）】

<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/b16fc396c4418c92afd8c05a3af587f025224afb.pdf>

【危険物施設の震災等対策ガイドライン（総務省消防庁）】

<https://www.fdma.go.jp/publication/guideline/hazardous002.html>